

# 海のゆりかご探検

浜名湖アマモ場観察

## 学校の関連学習単元

小4/理科 季節生き物  
小6/理科 生物と地球環境

**プログラム概要**

**対象**

幼	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中学	大人
<input type="radio"/>								

**分野**

水

**時期**

5月中旬～9月中旬

**時間**

半日

**人数**

40人  
(1クラス)

**場所**

浜名湖  
(いかり瀬)

**講師／補助**

1人/1人

**費用**

小学生以下  
600円



## ねらい

- ・アマモ群生地での生きもの観察を通して、浜名湖の豊かさを体感する。

## 実施内容

- ・浜名湖とアマモ場について説明を聞く。
- ・アマモ場の生きもの観察をする。
- ・採集した生きものの解説を聞く。

## 使用する材料・道具

◇受講者が準備するもの ◆講師が準備するもの

- ◇マリンシューズ又は濡れてもよい靴
- ◇帽子
- ◇飲み物
- ◇水着と着替え

- ◆たも網
- ◆水生生物観察用水槽
- ◆図鑑
- ◆拡声器

## 講座活用のワンポイントアドバイス

- ・本プログラムは、あらゆる年齢の方が申し込みできます。ただし、安全のため、小学生以下は保護者又は引率者等が同伴してください。
- ・潮位が低いことが実施の条件となるため、実施日時は調整させていただくことがあります。
- ・40人以上の参加も可能です。参加者数により、講師の派遣人数を調整します。
- ・アマモ場は「弁天島海浜公園（いかり瀬）」になります。

**【費用負担】**

- ・保険（イベント保険等）へは、参加者で加入してください。
- ・駐車場は、弁天島海浜公園駐車場をご利用ください（有料）。

**【雨天の場合】**

中止もしくは延期。前日が荒天の場合は、指導者と協議し実施の可否を判断してください。

**実施機関**

**浜松市環境政策課（浜松市環境学習指導者）**

下記連絡先へ実施日の1ヶ月前までに申し込んでください。浜松市環境学習指導者を講師として派遣します。実施の決定後、事前打合せが必要なため、講座実施の2週間前までに講師へご連絡ください。

問合せ・申込先：浜松市環境政策課 TEL:053-453-6149 FAX:050-3606-4345

E-mail:kankyou@city.hamamatsu.shizuoka.jp



## プログラムの展開例 ※いかり瀬の場合

時 間

内 容

指導のポイント

導入  
20分

### ○海浜公園の渡船場付近で乗船方法を説明する (船でいかり瀬に移動する)

(いかり瀬到着後)

### ○浜名湖とアマモ場について 説明する

- ・浜名湖について説明  
(面積、成り立ち、特徴など)

- ・「アマモ」と「コアマモ」を紹介
- ・「海草」と「海藻」の違い
- ・アマモ場の役割  
アマモ場は、水流が穏やかなため、産卵場所や小魚やエビなどのすみかえさ場となる。



#### 〔浜名湖の概略〕

面積: 70.4km<sup>2</sup>  
周囲長: 128km  
水深: 平均 4.8m、最大 13.1m(湖心)

- ・実際に、アマモとコアマモを手に取って説明する。
- ・アマモとコアマモの違いには、形状や大きさのほかに、生育場所がある。アマモは海中に生育するのに対し、コアマモは潮汐により海面に出る場所で生育する。
- ・海草とは、進化の過程で一度陸に上がった後、再び海に戻ったもの。種子で繁殖する。
- ・有毒の魚等については、可能であれば図鑑等で解説する。



観察  
60分

### ○アマモ場を観察する

- ・参加者はフィールド内を自由に移動しながら、生き物を採集、観察する。



- ・生き物を採集することができない参加者については支援する。(採集例: 網を固定して足で追いかける)

#### <安全管理>

- ・目の行き届く場所ではあるが、安全管理のため、参加者の動きには常に注意を払う。

まとめ  
20分

### ○採集した生き物を共有する

- ・参加者が採集した生き物を持ち寄り、解説する



- ・採集した生き物の解説に終始するのではなく、その生き物にまつわるエピソードや類似種等の解説を交える。

### ○採集した生き物を、観察後アマモ場に放し、海浜公園に戻る

